

# 水島中だより

倉敷市立水島中学校



第2号



令和6年4月26日発行



4月11日に48名の新入生を迎えました。5年ぶりに来賓の皆様、保護者の皆様、全校生徒の皆さんが揃った入学式を行うことができました。今年は当日の天気もよく、校庭の桜も満開の状態で見送ってくれました。令和6年度は全校生徒172人でのスタートです。生徒たちの笑顔いっぱい溢れる水島中学校でありたいと思います。入学式の式辞では、水島中学校には他の学校にはない特徴があることを取り上げて話をしました。以前水島中学校に勤務していた時にはあまり思わなかったことですが、私の立場が変わり、水島中の良い所について、新たに目を向けられたことは良かったなと思いましたし、やっぱり水島中学校っていいなと思いました。（式辞で話したことを一部紹介します。ちょっとだけ変えてますが…）

北口からの正門から入りますと希望の碑があります。「希望は高く あゆみは強く」と書かれており、水島中学校の生徒たちに強く訴えかけてくれている言葉となっています。内観の庭には、砂地に模様がつけられ、枯山水をイメージしたものになっています。そこには静寂があり、自分の心を鎮め、自分を見つめることができます。

やすらぎの丘では、5本の桜の木が生徒たちをいつも見守ってくれています。桜の木の一年の変化を見ながら、日々生徒たちはすくすく成長していきます。やすらぎの丘のてっぺんにある校訓は、「**自主 協力 友愛 奉仕**」と刻まれています。**自主**とは、自分で決定し、自分の意志で行動することです。**協力**とは、2人以上が心と力を合わせて1つの目的に向かって努力することです。**友愛**とは、相手を温かく、思いやる気持ちのことです。**奉仕**とは、見返りを求めず、社会に貢献することです。……

新入生宣誓では、大変な緊張の中でも、これから中学校生活を頑張っていこうという強い意志を感じることができました。歓迎の言葉では、生徒会の岡田華奈さんが、文章の内容も素晴らしかったのですが、しっかり前を見てほぼすべて覚えて話していたこと、その姿に感動しました。きっとすごい努力をしたのではないかと思います。その歓迎の言葉の一部を紹介したいと思います。

……私も2年前、同じように緊張していました。同じ小学校だった友達に、初めて出会う子に声をかけにいこうと誘われました。その時、心臓がドキドキしていたことを今でも覚えています。声をかけた子は優しい笑顔で話してくれました。そして、その子とは2年経った今でも良い友達です。初めて会う人と話すことは勇気がいります。しかし、皆さんの周りにいるのはこれから3年間を共に過ごす大切な仲間です。ぜひ、勇気を出して自分から声をかけてみてください。……これからの学校生活で頑張りたいと思っていることはありますか。勉強、部活動、委員会活動、学校行事、どんなことでもいいと思います。まずは挑戦してみてください。中学校では、今まで感じたことのない感動ややり場のない悔しさを感じることもあります。挑戦し、壁にぶつかった時は、新しい仲間や頼れる先輩、親身になってくださる先生方に相談してみてください。私たちはいつでも皆さんの味方です。……